

# 京都芸術 センター 通信

KYOTO ART CENTER  
NEWSLETTER

April 2018  
Vol.215

発行 | 京都芸術センター  
2018年3月20日

# 04

## 高畑紗依 (たかはたさえ)

1993年大阪府生まれ。京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程芸術専攻版画領域在籍。主な個展に『まばたきの数だけ』(KUNST ARZT, 京都, 2017)、『タユタユ』(AMUCA, 京都, 2017)、『transfer appear』(京都精華大学ミーティングルーム, 2016)、『山びことグローブ』(kara-S, 京都, 2016)。主なグループ展に、『work in progress 霧の輪郭』(Space紗, 京都, 2017)、『連鎖とまたたき』(京都精華大学ギャラリーフロール, 2016)。《眺めのほころび》を「2016年度京都精華大学 卒業・修了制作展」に出展。

## 加藤巧 (かとうたくみ)

1984年愛知県生まれ。2010年大阪芸術大学美術学科卒業。主な個展に、『Clock Works』(GALLERY MIKAWAYA, 愛知, 2017)、『ARRAY』(the three konohara, 大阪, 2017)、『~|wave dash』(awai art center, 長野, 2016)、『Seen from a Vehicle』(KulttuuriKauppila, フィンランド, 2015)。主なグループ展に『Transfer Guide』(the three konohana, 大阪, 2017)、『作法のためのリマインダ』(奈良・町家の芸術祭はならあと2015)。企画したワークショップに『塗料を食べる会×タカハシタカカカン'セージ』(FIGYA, 大阪, 2017)など。第30回ホルベイン・スカラシップ奨学生。

## TOPIC 01

# 『ニューミュレーション — 変・進・深化』展

京都芸術センターでは関西圏の芸術系大学を卒業/在籍活動中の若手作家を取り上げる「ニューミュレーション」を開催します。今回は、加藤巧・西條茜・高畑紗依の3名を紹介します。

何かを見聞きしてふと腑に落ちる感覚を覚えるのは、どのようなときでしょうか。はっきりとした理由がなくても、興味を抱いた対象の引力には、相応の根拠があるはず。本展では制作における作家の「ややこしい」手法に着目し、彼ら独自のミュレーション(突然変異)の源を探ります。

加藤の絵画は、自身の水彩ドローイングから、古典技法のテンペラに置き換えてつくられます。一見伸びやかなストロークと自由な配色に感じられますが、その制作プロセスには、材料や描画方法へのロジカルで緻密な実験と実践が存在し、ある形のある素材で描く、という事象が限りなく豊かに深化されます。西條は焼き物の特性である、中心が空洞であることからもたらされる虚構性に関心をもち、史実から着想を得た想像上の道具をつくります。近作では鋳物を窯の中で焼成し、新たな素材として用いる実験的な試みを展開し、自然と

人為という二つの営みの重なりから生まれる変化を、焼き物を通して見出そうとしています。高畑は、山の稜線や建物の輪郭線など身近な風景をフィルムや紙の上にトレースし、細かく切り出したものを空間に配置するインスタレーションを発表しています。元の描線が分からなくなるほどに解体され再構築されたそれは、特異な進化を遂げた新しい都市像を私たちに見せるでしょう。

3名の作品は、着想の元となった対象に、オリジナリティあふれるアプローチを加えて生まれます。制作プロセスにそのレイヤーを挟むことで、逆にややこしさや分からなさといった疑問を軽やかに飛躍し、現代的な説得力を獲得した彼らの表現に、どうぞご期待ください。

////////////////////  
「あえてこころずる」ことで出現する創作におけるミュレーション。3名の「変・進・深化」が堪能できる展覧会です。

平野春菜(アートコーディネーター)

『ニューミュレーション — 変・進・深化』展  
会期：4月14日(土) - 5月27日(日)  
※会期中無休・入場無料  
会場：ギャラリー北・南  
出展：加藤巧、西條茜、高畑紗依

### 【関連企画】

アーティスト・トーク  
日時：4月14日(土)14:00-15:00  
集合：ギャラリー南  
※入場無料、事前申込不要

マテリアル喫茶  
喫茶店のお菓子とともに、絵画の材料について考察します。ドリンクを片手にお楽しみください。  
日時：4月14日(土)15:00-16:00  
会場：前田珈琲  
店主：加藤巧  
料金：500円(お菓子・ドリンク付)  
定員：40名(先着順/要事前申込)

ワークショップ  
「けしきの上をえんぴつで泳いでみる」

普段見ている景色をなぞってみて、少し違った風景を見つけます。  
日時：5月12日(土)14:00-17:00  
会場：制作室1  
講師：高畑紗依  
料金：無料  
定員：10名(先着順/要事前申込)

クロージング・イベント

「ルッペルトの頭の中身」  
西條茜の出展作の一部である巨大な脳に見立てた立体作品の解体を試みます。  
日時：5月27日(日)17:00  
会場：ギャラリー北  
※入場無料、事前申込不要

※イベント情報(P2)もご覧ください

## 西條茜 (さいじょうあかね)

1989年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器分野修了。主な個展に『folly』(アトスペース虹, 京都, 2017)、『ほ伏する山々』(Gallery shop collage 同時代ギャラリー, 2016)。主なグループ展に『Ascending Art Annual Vol.1 すがたかたち -「らしさ」と私の想像力-』(スパイラルガーデン, 東京, 2017)、『Test Case XI』(European Ceramic Workcenter, オランダ, 2017)、『rhizome 西條茜+嶋春香』(京都市立芸術大学ギャラリー@kcu, 2017)、『六甲ミーツ・アート 芸術散歩2016』(六甲高山植物園, 兵庫)など。

西條茜『ルッペルトの頭』2017





## TOPIC 02

# 京都国際ダンスワークショップ フェスティバル2018

4月20日からゴールデンウィークにわたり、京都芸術センターにて国内最大級のコンテンポラリーダンスのワークショップフェスティバルを開催します。世界各国の講師による充実したプログラムを展開、京都に日本中のダンサーたちが集結する祭典です！

「京都国際ダンスワークショップフェスティバル」は、国内外の講師を通じて、様々なコンテンポラリーダンスの技術と情報を交換する、またとない機会です。ワークショップとともに各講師によるオーディションを行い、さらに多くのダンサーを輩出する機会につながることを目指しています。今年のテーマは「Bodylogue」。身体をとらえて聞き取れるものに対して敏感になり、身体に対する知覚を更新していくとともに、他者や自身を取り巻く環境との「対話」を積み重ねていきます。

踊りのテクニックをステップアップさせたい方、クリエイションや振付の手法をじっくり学びたい方、これからダンスを学ぶ方など、それぞれのレベルに応じてクラスを選択できるプログラムになっています。また、初めてダンスに触れる方も受講できるビギナークラスや、おとなと子どもが共に受講できるクラスも開講しています。このフェスティバルでは、単にダンスを学ぶだけではなく、日本全国、そして海外各地のダンサーとともにそれぞれのダンスや身体の違いを発見していくことを目指します！ チョン・ヨンドウクラスでは成果発表のショーイングも実施する予定で、ワークショップを受講しない方も鑑賞できます。ダンスする身体を味わいつくすゴールデンウィークに、あなたも飛び込んでみませんか。



### 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2018

国際的に活躍する振付家、ダンサーらを講師として招聘。ビギナーからプロのダンサーまで様々なレベルのクラスを設けたワークショップ、受講者以外も参加できるプログラムを開催します。

日時：4月20日(金)～5月6日(日)

会場：講堂、フリースペースほか

講師：アビゲイル・イェーガー、フランチェスコ・スカベッタ、カティア・ムストネン、坂本公成、森裕子、長内裕美、チョン・ヨンドウ、マルセロ・エヴェリン、川口隆夫、森井淳、秋津さやか

※ワークショップ各クラスの詳細と日程、料金については、ウェブサイトをご覧ください

※イベント情報(P2)もご覧ください

////////////////////  
昨年から続く人気講師のクラスに加えて、マルセロ・エヴェリン、川口隆夫によるクラスでは舞踏に注目したクリエイションも学ぶことができる注目のラインナップです。多彩な講師陣の魅力をつまみ食いできるビギナークラスもおすすめです。 富岡芽(アートコーディネーター)

## みみききプログラム #1 明倫レコード倶楽部

作家のいしいしんじ氏の進行で、貴重なレコード・コレクションの中から名曲をお届けします。元明倫小学校の懐かしい校舎のなか、解説と音響機材の名器の響きをお楽しみください。

### #1 明倫レコード倶楽部

日時：4月21日(土)、9月1日(土)、12月1日(土)、  
2019年3月2日(土)

開場13:30 開演14:00

会場：講堂

料金：500円(1ドリンク付)

講師：いしいしんじ(作家)

チケット発売日：3月25日(日)

### ●みみきき(耳利き)プログラムとは

音色に耳を傾ける企画として「明倫レコード倶楽部」、「素謡の会」、「Kyo×Kyo Today」をシリーズ化したプログラム。各プログラムの詳細は順次公開。お得な半券割引もあります。

[2018年度の予定]

#2 素謡の会：5月13日(日)、9月15日(土)[謡曲ひとめぐり]、12月18日(火)、2019年3月28日(木)

#3 Kyo×Kyo Today：2019年1～2月予定

## TOPIC 03

### KAC Artist-in-Residence Program: Exchange / Seoul Dance Center

## イ・ジェウン『空間をつくり時間をのこす』

ソウルダンスセンターより招聘し、2月1日から3月30日までリサーチ、クリエイションを進行中のイ・ジェウン。伝統工芸職人の技や姿勢から見出した「時間の認知を揺るがす感覚」をもとに新作パフォーマンス+展示を発表します。

京都芸術センターは、2016年より、ソウルダンスセンターと連携し、双方のアーティストが2ヶ月間滞在制作を行うエクスチェンジプログラムを実施しています。

イは、韓国・釜山出身の振付家・ダンサーで、時間の認知や、異なる性質をもつ事象の対比をテーマにしたパフォーマンス、ダンス作品を制作しています。パフォーマンスを成立させる要素は時間と空間であると話すイは、本リサーチでは特に時間に焦点をあて、自身がパフォーマンス中に体感する非日常な時間の感覚について、その変化と要件を模索しています。関心を持つきっかけとなったのは、昨年、釜山で参加したグループリサーチでの伝統工芸職人との出会いです。彼らが神経を研ぎ澄ませて制作に臨む姿に、自身のその感覚に通じるものを見出しました。京都でのリサーチでは、織物、包丁砥ぎ、彫型など、様々な伝統工芸職人との交流や工芸体験を経て、その感覚への理解を深め、自身のパフォーマンスに反映することを試みます。また、パフォーマンス後には、制作過程を紹介するアフタートークを行い、翌日より3日間、アトリエを展示として公開します。

////////////////////  
ジェウンさんは、特に刃物に関係する伝統工芸の職人に着目し、彼らの身体の使い方や息遣いに関心を寄せています。 堀越芽生子(アートコーディネーター)



彫型のデモンストラーションの様子

### Profile

#### イ・ジェウン (Lee Jeoun)

ソウルと釜山に拠点を置くダンサー、振付家。境界を設けずに舞踊の可能性を広げることを目指している。主な作品に、アジアカルチャーセンター「Lotus Land」プロジェクト『Sleeping Volcano』振付・出演(2017)、KYOTO EXPERIMENT 2017 박박parkpark 『歌曲失格:部屋5』(2017)出演など。「Monthly dance improvisation jam in Busan(動きの即興ジャム)」運営。



### KAC Artist-in-Residence Program: Exchange / Seoul Dance Center

#### イ・ジェウン『空間をつくり時間をのこす』

#### パフォーマンス

日時：3月25日(日)17:00-17:40

※終演後にアフタートークを予定。逐次通訳あり

#### 展示

日時：3月27日(火)～29日(木)10:00-20:00

会場：制作室7

※入場無料・要事前申込

※イベント情報(P2)もご覧ください

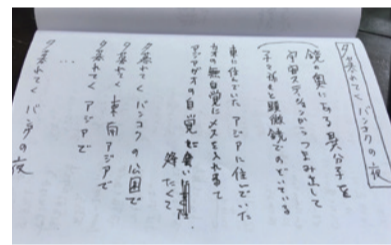
## TOPIC 04

### KAC TRIAL PROJECT / Co-program 2017

## 村上慎太郎「アジア顔が巡る、アジアの無自覚」リサーチ報告会

村上は、何気ない会話の中で「インドネシア顔だね」と言われたことをきっかけに、アジアという地域における自分自身の立ち位置に疑問を持ちます。自身の顔をインドネシアと評されたことに少なからずショックを受けた村上は、そのとき自分の中に芽生えたネガティブな感情について思いを巡らせ、この疑問について自己と現代社会を対象として検証する必要性を感じました。近作で、信仰を創作の要素として扱った村上。リサーチでは、マニラ(フィリピン)・ジョグジャカルタ(インドネシア)、シンガポール、クアラルンプール(マレーシア)、バンコク(タイ)の異なる宗教圏の5都市を巡り、フォークソングの作詞作曲と演奏という村上の持ち味である瞬間的なアウトプットを通して、各都市の世相とそこに置かれる自己のリアリティを反映することを試みました。今回の報告会は、造形としてだけでなく、立場や感情によって変化する人間の「顔」という本質について、彼自身の現段階での思考をもとに語ります。国が変われば、顔も変わるのか。この根源的な問いが村上の今後の創作にどう結実するのでしょうか。

////////////////////  
村上さんが現地で作詞作曲してきた、生々しいフォークソングも一部披露予定です。見逃せません。 平野春菜(アートコーディネーター)



リサーチ中の作詞

### Profile

#### 村上慎太郎(夕暮れ社 弱男ユニット)

1984年京都市生まれ。2005年京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科在学中に「夕暮れ社 弱男ユニット」を結成。以降、劇団では脚本・演出を担当している。2008年、次代を担う新進舞台芸術アーティスト発掘事業「CONNECT vol.2」(主催/大阪市)にて大賞を受賞。過去作品に、『プール』(2014)『ハイアール』(2015)『僕たちは、世界を変えることはできない』(2016)等。第24回OMS戯曲賞ノミネート。舞台以外にも、テレビ・ラジオなどのドラマ脚本や新作狂言の台本も手がける。

### 村上慎太郎「アジア顔が巡る、アジアの無自覚」リサーチ報告会

日時：3月31日(土)17:00-18:30

会場：フリースペース

※入場無料、事前申込不要

登壇：村上慎太郎(夕暮れ社 弱男ユニット)、

山下残(振付家)

主催：村上慎太郎、京都芸術センター

※イベント情報(P2)もご覧ください

Since 1971  
**MAEDA'S COFFEE**  
KYOTO ART CENTER 1F  
MIYOMACHI, TAKOYAKUSHI  
NAKAGYOKU, KYOTO  
TEL.075-221-2224  
10:00~21:30 everyday

夏休み企画展『感覚のあそび場』  
—岩崎貴宏×久門剛史—  
2016年7月26日～9月11日  
展覧会カタログ 定価 500円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは下記ウェブサイトよりご注文いただけます。  
<http://www.kac.or.jp/shop/>

### 京都芸術センター



**交通案内**  
○市営地下鉄烏丸線「四條」駅/  
阪急京都線「烏丸」駅22番出口・24番出口より徒歩5分。  
○市バス「四條烏丸」下車、徒歩5分。

**開館時間**  
○ギャラリー・図書室・情報コーナー ..... 10:00-20:00  
談話室・チケット窓口 ..... 10:00-21:30  
○カフェ ..... 10:00-21:30  
○制作室、事務室 ..... 10:00-22:00

**休館日**  
12月28日から1月4日

〒604-8156  
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2  
TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004  
E-mail: info@kac.or.jp URL: <http://www.kac.or.jp/>  
twitter: @kyoto\_artcenter  
<http://www.facebook.com/kyotoartcenter>

